



おにぎり通信

2022年1月15日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷、銀座、日比谷、秋葉原、日本橋、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

新型コロナウイルスの影響が長引く中、収入が少ない・無い人たち（住民税の非課税世帯）に対して、1世帯当たり10万円の現金が給付されます。生活保護を受けている人は、住民税の非課税世帯に含まれますので、給付の対象となります。また、給付金は収入に含まれませんので、生活保護とは別に受け取ることができます。

給付金は、昨年12月10日時点で、住民票のある市町村から受け取ることとなります。路上で生活している等で、いずれの市町村にも住民票がない人は、いま居る市町村で住民登録をして住所ができれば、その市町村で給付金を申し込んで受け取れます。給付は、年度内の3月までには始まる予定で、港区は1月中、中央区は2月中旬に支給開始の予定です（千代田区の情報はまだありません）。申込の締切は9月末までとなっています。

福祉行動を希望の方は、

おにぎりを配る時に、お声がけください。

病院や生活相談等で、福祉事務所に行くことを希望される方は、おにぎりをお渡しに伺った際に声がけ下さい。毎週土曜日の訪問活動の時に声がけ頂いた場合、翌週以降に福祉事務所まで同行します。

中央区福祉事務所・中央区築地1-1-1 中央区役所4階

千代田区福祉事務所・千代田区九段南1-2-1 千代田区役所3階



おにぎりを包むラップや読み終わった通信は、放置せずゴミ箱へ



おにぎりは、お1人1個で、その日のうちに召し上り下さい

えんぎ
【縁起がいい】

「こいつあ春から縁起がいいわえ」歌舞伎の有名な一節です。濡れ手
に粟で大金をせしめた登場人物が、気持ち良さに歌い上げます。
日本人は、縁起を担ぐのが大好きです。招き猫や熊手などの縁起物を
飾り、鯛や海老といっためでたい縁起食を食べ、正月や節分などの
年中行事で厄を払い、福を呼び込みます。

もともと「縁起」というのは、「～に縁って～が起こる」という意味
の仏教の言葉です。仏教では、世の中の物事には、何にでも元とな
る原因があると考えます。縁起とは、そうした原因と結果の「関係」
をあらわします。仏教を始めたブツダ（釈迦）は、老いや死といった
人間の苦しみは何に縁って起こるのか、苦しみの原因は何か、という
事を考え続けました。そして、ようやくブツダが悟りを開いて辿り着
いた答えは、生命をつなぐものへの執着が、全ての苦しみの原因で
あり、これを無くせば苦しみから逃れられる、というものでした。

縁起物の代表格といえるのが、赤くて丸っこい「だるま」です。モ
デルとなっている達磨大師は、禅宗を始めた有名なお坊さんで、岩壁
に向かって9年間座禅をして、悟りを開いたといわれています。「だる
ま」は、倒れてもすぐ立ち直る「起き上がり」というお玩具が元とな
っており、それが厄除けの赤に塗られるようになり、最後に有難い達磨
大師の顔が乗かって、今の姿かたちができあがりました。色んな
縁起の良さがてんこ盛られた「だるま」は、すでに江戸時代には、大人気
の縁起物でした。ブツダや達磨大師のように、悟りを開いて苦しみか
ら逃れるのは、凡人には叶いませんので、せめて「だるま」にあやか
って縁起を良くしたいというのが、人情というものかと思えます。



よつや なかま ちよだくこうじまち せい きょうかい
四ツ谷おにぎり仲間 千代田区麴町6-5-1 聖イグナチオ教会
れんらくさき れんらくかのうじかん まいしゅうどうようびごご じ じ
連絡先 080-7967-8672 (連絡可能時間 毎週土曜日午後3時～6時)